

新泉サナホーム便り

第8号
2020年10月20日

発行人
新泉サナホーム
結城拓也

「挨拶

施設長 結城 拓也

菊薫る季節、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年は、年明けから続くコロナウイルス感染症の感染状況に一喜一憂する日々が続いております。

さて、新型コロナウイルス感染症の国内の感染状況は、8月をピークに減少傾向に転じてはいるものの、引き続き高い水準で推移しております。また、海外では、ヨーロッパを中心に、再び感染者が増加傾向にあるようです。

当施設では、前号でお伝えしたとおり、感染対策として入所者の検温を毎日実施、館内の衛生管理、職員の出勤前・出勤後の検温などの健康管理、ご家族等の面会制限、業者の搬入方法や納品場所の変更などの対策を実施しております。おかげさまで、現時点（10月15日時点）では、当施設入所者、職員に感染者は発生しておりません。引き続き、感染対策を継続し、

新型コロナウイルス感染症だけではなく、季節性のインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の予防に努めて参ります。

一方、ご家族等の面会に関しては、7月1日以降、一旦面会制限を緩和し、入所者と直接お会いできる機会を設けておりましたが、感染者数の増加に伴い、7月25日以降再び面会を制限しております。

今後、感染動向を注視しながら、面会制限の緩和を検討しております。しかしながら、コロナ禍以前の状態に戻ることは、当面難しいと思っております。面会制限を緩和した場合であっても、入館前の健康チェック、面会の場所、人数、時間、距離を保つ、面会後の消毒などの感染対策を講じた上で面会していただくこととなります。

年明けからの新型コロナウイルス感染症に伴い、入所者の皆様、ご家族の皆様には、ご不便をお掛けし、心苦しく思う日々です。何卒、ご理解ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。



夏の終わりにから



中秋にかけての行事など

コロナ禍において、大きな行事は縮小傾向にありますが、少しでも入所者の皆様の生活に楽しみを作るため、職員が工夫しながら実施しております。

夏の終わりの夕涼み・・・



夏の終わりのとある日、夕方のおちよとした時間をみつけて、中庭で花火を楽しみました。屋外は、想定よりも明るく、花火の光を楽しむには微妙な明るさでしたが、入所者の皆様には好評の様子でした。



敬老の日(敬老会)

去る9月26日、敬老会を開催いたしました。本来は、ご家族の皆様と共に、日頃の感謝と敬老のお祝いを行う予定でしたが、規模を縮小しつつ、施設より日頃の感謝の気持ちをお伝えしました。

今年度は、数えの年で喜寿(77歳)1名、傘寿(80歳)1名、米寿(88歳)3名、卒寿(90歳)4名、白寿(99歳)1名、最高齢者男性1名(97歳)、女性3名(100歳)、計14名の方へ感謝状を贈らせていただきました。

感謝状を受け取り、他の入所者の拍手に応え、普段杖を使用している方も杖を置き、ご自身で立ち上がりご挨拶をされるなど、普段見ることのない一面を見せていただきました。

また、100歳の方も3名在籍されており、お元気に過ごされております。

今後とも、入所者の皆様の健康長寿を願いつつ、感謝の気持ちでサービスを提供いたします。



料理クラブ



去る9月29日、料理クラブを行い、ちらし寿司を作りました。お好きなように具材をちらし、それぞれのちらし寿司を楽しんでいただきました。

第三者評価への協力、

ありがとうございます。



当施設では、サービス向上を目的とした第三者評価機関による評価を毎年実施しております。ご家族の皆様には、アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。

評価結果等につきましては、年度内にヤフーきょう福祉ナビゲーションにて公表される予定です。

編集後記

今回は、晩夏から中秋にかけての施設内の様子をお届けしました。最近では、気候変動のためか、季節が一気に変わり、季節の移ろいを感じる事が少ないようです。コロナ禍の終息を願いつつ、日々、よりよいサービス提供に努めたいと思います。